

# 私たちのフィールドを もっと使ってみませんか？

—異分野・地域との共創に向けた次世代農学教育研究センターの挑戦—

2026.

**5.21** 木

**17:30-19:00**

宮崎大学錦本町ひなたキャンパス講堂<sup>1</sup>

事前登録不要<sup>2</sup>

オンライン視聴は  
こちらから



報告者

宮崎大学農学部附属 次世代農学教育研究センター

教授 高木正博・特別教授 中村薫・特別助教 小柳賢太

## プログラム

### 17:30- 開会挨拶

17:35 鮫島 浩（学長）

### 17:35- 新しくスタートした次世代農学教育研究センター

17:55 高木 正博（農学部 教授）

宮崎大学農学部にはフィールドを活用した実践的な教育研究と、地域や農学以外の分野との共同で教育研究を進めるための附属施設があります。令和7年4月に新しくスタートした次世代農学教育研究センターです。国内の多くの農学部は、学生の実習や卒業研究もしくは教員の研究のために利用できる、フィールドを所有しています。宮崎大学農学部では、農学部敷地内にある農場、西日本最大規模の牧場、DX林業を推進する演習林、九州太平洋岸唯一の水産実験所という、それぞれ特色のある4つのフィールドを備えています。教室で受ける講義だけでなく、これらのフィールドで実際に稲、野菜、牛、豚、牛乳、木材、キノコ等の栽培、飼育や生産の作業を体験することによって、知識と技術の両輪からなる実践的な教育を受けることができます。以前からあるこれらのフィールドに加えて、地域共創・異分野融合推進部門と称する組織を新しく作り、地域や農学以外の分野との共同での教育研究をさらに進めることになりました。宮崎県は農林水産業が主要な産業ですが、労働力不足や環境変動の影響など課題は山積みです。これらの課題を解決していくためには農学分野のみにとどまるだけでなく、工学部と協働による情報通信技術の活用や、地域資源創成学部と協働による6次産業化などの新たな取り組みが有望です。そのような新しいアイデアをスムーズにかつ効果的に実践するための教育研究を行っていきます。



### 17:55- 次世代センターの地域共創・異分野融合推進部門の

### 18:20 取り組みの現状とこれから

中村 薫（農学部 特別教授）

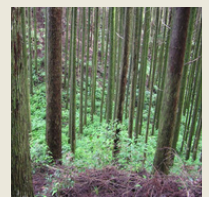
次世代農学教育研究センターに、新たに「地域共創・異分野融合推進部門」が設置されました。この部門は、学内での学部間の融合型教育研究の推進だけでなく、地域が抱えるニーズと、農学部をはじめとする学内の多様なシーズを結びつけ、地域に求められる研究の創出をめざしています。また、公募卒論制度などを活用し、学生が地域の課題に向き合いながら学ぶ地域の「課題解決型教育」の推進や、高校と連携することで将来の農業関連人材の育成に取り組んでいます。今回は、この部門で現在進めている公募卒論の推進状況や高大連携の取り組み、そして私自身がセンターで行っている花きに関する研究の内容と今後の展望について具体的な事例を交えながら紹介したいと思います。



### 18:20- 教室で森を歩く：仮想現実によるフィールドへのいざない

18:55 小柳 賢太（農学部 特別助教）

宮崎県の7割以上は森林に覆われています。通勤や通学の途中など、日常生活の中で森林を目にしない日はほとんどないのではないのでしょうか。このように身近なはずの森林ですが、実際に皆さんをフィールドへお連れし、その科学的な面白さを直接伝えられる機会は限られています。そこで当センターでは、最先端のセンシング技術により大学の森をデジタル空間上に「複製」することにより、例えば教室にいながらも自由に森林を歩き、時には鳥の目線も借りながら、森林についてより深く探究できる没入型オンライン教材の制作に取り組んでいます。最終的には、このような仮想現実での学びを通じて、より多くの方々がフィールドに興味を持ち、「実際に足を運んでみたい」「より深く学びたい」「こんな研究がしてみたい」と思ってもらえることを目指しています。



試作品の  
体験も！



### 18:55- 閉会挨拶

19:00 片岡 寛章（理事・副学長）

1会場には駐車場がございません。近隣の駐車場をご利用ください。

2Microsoft Teamsで視聴される方は登録が必要となります。（QRコードをクリックするか、コードを読み取って登録ください。）

上記でのお申込みが困難な場合には、メールにて「学内・外者の別、学内者の場合は教職員・学生の別、所属、氏名」をお知らせ下さい。

宮崎大学研究推進課総務係 E-Mail:ken-somu@miyazaki-u.ac.jp

